

市民とともに

「笑顔あふれる出雲」をめざして

5月27日、出雲市議会定例会が開会し、飯塚市長が令和3年度の施政方針を表明しました。その主な内容を紹介します。

I. 所信

今回の選挙を通して、市内各地を訪ねさせていただき、現在の出雲市の姿をつぶさに見てまいりました。広範な地域に多様な産業や歴史文化が息づく本市は、更なる発展の可能性を秘めていると、あらためて実感したところであります。

また、新しい住宅が建ち並び、若い世代が増えたことで、活力が肌で感じられる地域がある一方、人口減少が進む山間部や海岸部では、地域の担い手不足を背景に、地域コミュニティの維持すら困難になりつつある厳しい現状があります。

私は、それぞれの地域が抱える課題に応じて対策を講じ、市民一人ひとりが輝き、夢が描ける出雲を創造するとともに、市政のコーディネートとして、本市が持つ潜在力を引き出し、更なる

魅力の向上を図ってまいります。

一方、本市の活力を維持し、市民の豊かで健やかな暮らしを支えていくためには、「地域経済の発展が財政健全化に貢献し、財政健全化が市民サービスの向上に寄与する」という望ましい循環を創出していく必要があります。

私は、合併後初の民間出身の市長として、企業経営で培った経営感覚を生かし、行財政改革に取り組みながら、「力強い地域経済の実現」と「健全な財政運営を土台とした施策の展開」を基本方針として市政運営に臨みます。そして、本市が誇る産業集積や地域資源を活かし、60万宍道湖・中海圏域を牽引する元気な中核都市として突き進んでまいります。

また、企業にとって顧客からの信頼が欠かせないように、自治体にとっては市民からの信頼が重要であると考えます。私は、市民との対話や交流を通して、市民目線で物事を捉え、地域と積極的に関わる職員を育てることで、市民に寄り添い信頼される市役所をめざしてまいります。

II. 市政運営のポイント

1. 「新型コロナウイルス感染症対策」

新型コロナウイルス感染症は、いまだ世界中で猛威をふるっており、国内においても収束の見通しは立っていません。昨年来、日常生活や社会活動が制約されるなか、市民、事業者の皆さまには、感染拡大防止に向けたご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスとの共存を前提とした社会、いわゆる「ウィズコロナ」の時代に対応していくためには、感染拡大防止と社会経済活動の両立が必要とす。

感染防止対策については、感染症収束に向けての有効な手段であると考えられるワクチン接種を着実に進めていくことが重要です。本市では、先月から高齢者への接種を開始したところであります。今後も、県や出雲医師会をはじめとする医療関係者と緊密な連携を図るとともに、的確な情報提供に努めながら、迅速かつ円滑に実施できるよう万

全の体制で取り組んでまいります。

また、安定した医療提供体制が維持できるよう、国や県に対し、医療従事者の確保や医療機関への支援制度の充実を働きかけてまいります。

一方、感染症が地域経済や社会活動に与えている影響は長期化しており、宿泊、飲食、交通など観光関連産業を中心に大変厳しい状況が続いています。本市では、市内事業者の事業継続を下支えし、集客や売上の回復につなげるため、感染予防対策や新規事業展開への支援、消費喚起事業などに取り組んでいるところです。



新型コロナウイルスワクチン接種

市民の安全・安心な暮らしを守ることは自治体の責務であり、市長としての私の最大の使命です。今後も、地域の状況を見直し、国・県の施策動向などの情報収集を行いながら、臨機応変に必要な対策を講じてまいります。

2. 「人口減少対策」

本市は、人口の社会増を背景に17万人台を維持しており、先月発表された令和2年国勢調査の県速報値では、県内8市で唯一、人口増加を果たしています。

この流れを持続させるため、生活の基盤となる雇用場を確保することも、コロナ禍を契機とした地方回帰の動きも捉えながら情報発信や就職支援を行い、U・Iターン者の増加や若者の定住に努めてまいります。

一方、本市にとっても少子化対策は重要な課題の一つです。出雲で結婚し、子どもを生み育てたいと希望する若い世代をしっかりと支えるため、結婚から子育てまでの切れ目ない支援や、子育てと仕事の両立支援の充実を図ってまいります。

また、市内のどこに住んでいても安心して暮らせる地域づくりを応援するため、地域の課題に応じた支援を行います。とりわけ人口減少が顕著な山間部、海岸部といった中山間地域の支援に向けては、地域おこし協力隊員を増員し、うみ・やま応援センターによるサポート体制を拡充します。また、

中山間地域が抱える個別課題ごとに庁内横断的なワーキングチームを立ち上げ、多様な視点から捉えることにより、地域のニーズにあった効果的な施策を検討してまいります。



移住定住研修会の様子

3. 「脱炭素社会の実現」

地球温暖化が原因と見られる気候変動は、異常気象による災害や生態系の変化など、地球規模で大きな影響を及ぼしており、その対策が世界的な課題となっています。

国においては、「2050年カーボンニュートラル」が宣言され、経済と環境の好循環に向けたグリーン成長戦略が策定されるなど、脱炭素社会実現に向けた取組が加速すると予測されます。

こうしたことから、本市においても豊かな自然と人の営みが調和する、かけがえのない「ふるさと出雲」を次

世代につないでいくため、2050年二酸化炭素排出実質ゼロをめざし、「ゼロカーボンシティ」に挑戦することを宣言いたします。

本市は、県内屈指の太陽光や風力などの再生可能エネルギーの発電施設を有しており、本年7月には官民共同出資による新電力会社を設立して地域新電力事業に取り組み、エネルギーの地産地消を進めます。また、カーボンニュートラルの鍵は水素と言われており、国や産業界の知見と技術を活用して、再生可能エネルギーのベストミックスを進め、「脱炭素のまち出雲」を実現してまいります。

4. 「デジタルファーストの推進」

コロナ禍は、期せずして我が国のデジタル化の遅れを顕在化させ、また一方で、その推進を強く後押しする形となりました。

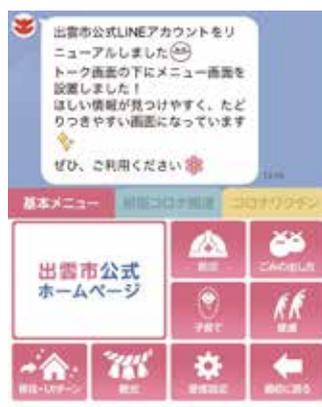
デジタル技術の活用は、急速に変化する環境に対応し、さまざまな課題の解決を図ると同時に、新たな価値を創造するための手法として期待されています。

本市では、「出雲市デジタルファースト推進計画」に基づき、市民サービスの向上や産業振興を図り、誰もがデジタル技術を簡単に利用できる環境づくりに努め、持続可能な都市づくりを進めてまいります。

また、高度な知見を有する外部専門人材をDX（デジタルトランスフォーメーション）アドバイザーとして登用し、

本市のデジタルファーストを強力に推進してまいります。

一方、通信事業者等では、既に5G（第5世代移动通信システム）に続く次世代通信サービス6Gの研究開発が進められています。さまざまな可能性を秘めている、こうした新たな技術にも着目し、その活用を展望してまいります。



出雲市公式LINEの画面

これまで申し述べた取組の推進や本市が抱えるさまざまな課題の解決は、行政のみでなし得ることはありません。私は、今回の選挙を通して、多くの企業経営者や起業家と出会い、あらためて民間の活力を感じることができました。こうした民間の力を引き出し、市民事業者、行政の英知を結集して、官民連携のもと、市政を『前へ』進めてまいります。

以下、「出雲未来図」に掲げる4つの戦略プロジェクトに沿って、主要施策・主要事業を説明します。

Ⅲ 主要施策・主要事業

1. 雇用創出2,500人プロジェクト

(1) 商工業

- 中小・小規模企業への支援
 - ・業務の効率化や売上拡大、商品力・商談力向上への支援

- ・学術・研究機関との連携機会の創出
- ・出雲ブランド商品の認定と情報発信
- ・事業承継・創業への支援

○地域商業の再生・活性化

- ・空き店舗を活用した開業や中心商店街などの賑わい創出を支援

○企業誘致

- ・多種多様な業種の誘致
- ・空き校舎を活用したサテライトオフィスの整備
- ・新工業団地の整備

○人材確保対策

- ・県外進学者やUターン者の市内企業への就職支援
- ・外国人住民の市内企業等への就労支援

(2) 農林水産業

○売れるものづくりの推進

- ・市場評価の高い、ぶどう、柿、菌床しいたけ、いちじく等の生産拡大に向けた新規就農者等への支援
- ・出雲農業未来の懸け橋事業や新出雲農業チャレンジ事業による産地の維持・拡大、担い手育成、中山間地域農業への支援、スマート農業の普及の取組
- ・全国和牛能力共進会に向けた候補牛

の育成支援

○農村の環境保全

- ・中山間地域等直接支払制度等を活用した地域の共同活動の支援
- ・「人・農地プラン」に基づく農地の集積や遊休農地の活用、耕作放棄地の発生防止の取組

○農業基盤整備

- ・宍道湖西岸地区国営農地再編整備事業及び長浜園地区県営ほ場整備事業の推進
- ・ため池等の農業用施設の長寿命化や防災・減災事業の実施

○林業振興

- ・「新たな森林管理システム」による森林施業の集約化の取組

- ・市民参加型の森林整備や循環型林業によるゼロカーボン推進のため、市内産木材の生産拡大と再造林を支援

○有害鳥獣の被害対策

- ・イノシシ捕獲檻の増設による捕獲の強化
- ・侵入防止柵等の設置による被害防止の取組を支援

○水産業振興

- ・漁業者による資源回復やブランド化等の取組を支援
- ・水産物消費の拡大のため、出雲の海の魅力を発信
- ・市管理漁港等の保全工事の推進

2. 定住人口キープ17万人プロジェクト

○定住促進

- ・移住・定住促進住まいづくり助成による新婚世帯や子育て世帯等の

移住・定住支援

- ・Uターンする独身女性への支援や「出雲暮らし」の情報発信
- ・Uターン相談会等への参加やオンライン相談会の実施による移住促進



Uターンフェア (平成31年9月)

○未婚化・晩婚化対策

- ・出会いの場イベントや支援セミナー等の開催

○出雲の魅力発信

- ・インターネット広告を活用した縁結びプロモーション事業の実施
- ・ふるさと応援寄附の返礼品の拡充による出雲ファン獲得

○多文化共生社会の実現

- ・多言語による情報提供や「やさしい日本語」での地域交流促進
- ・外国にルーツのある子どもたちが多様な進路選択ができるように取組を実施

○コミュニティ活動の推進

- ・専門家と連携した自治会づくりへの支援

・コミュニティセンターの機能の充実

- 空き家対策
 - ・民間との連携による空き家の発生予防、適正管理及び利活用の取組
 - ・第2期出雲市空き家等対策計画の策定
 - ・老朽危険空き家除却支援事業による安全・安心な生活環境の整備推進

○公共交通ネットワーク

- ・総合交通戦略である「出雲市地域公共交通計画」の策定

3. 交流人口1,200万人プロジェクト

(1) 観光誘客・交流

○戦略的な情報発信

- ・動画やSNSを活用したデジタルマーケティングの実施

○周遊滞在型観光の推進

- ・宿泊機能の強化や滞在型プログラム開発

- ・出雲周遊観光タクシー「うさぎ号」による周遊プランの充実



観光タクシー「うさぎ号」 JAL(日本航空)との連携

○出雲の魅力の活用

- 国立公園満喫プロジェクト、日本遺産、ジオパークを生かした新たな体験プログラムの造成
- 「日本ジオパーク全国大会」の開催
- 国が全国各地で展開する大型プロジェクト「日本博」への参画
- ポストコロナを見据えた海外への誘客プロモーションの実施



ジオパークのジオサイト(見どころ) その園の長浜

○文化財の保護・活用

- 重要文化財旧大社駅本屋の保存修理工事の実施
 - 田儀櫻井家たたら製鉄遺跡の越堂たたら跡現地整備の実施
 - 荒神谷遺跡復元整備地の整備改修の実施
 - 出雲国山陰道跡の保存活用計画の策定
- ## ○広域連携の推進
- 中海・宍道湖・大山圏域をはじめとする近隣自治体との連携事業の実施
 - 岡山県津山市及び長崎県諫早市との友好交流40周年記念事業の実施

(2) 広域交通ネットワーク

○空路・新幹線

- 出雲縁結び空港の就航路線の定着化・利用促進
- 空港の機能強化に向けた関係機関への働きかけ
- 新幹線整備計画路線への格上げに向けた取組

○高速道路、国道・県道

- 山陰道出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の早期完成や出雲バイパス全線4車線化の早期事業化に向けた国への要請
- 境港出雲道路全体の整備計画と整備方針の明確化に向けた国・県への働きかけ

4. 住みやすさNo.1プロジェクト

(1) 安全・安心

○安全・安心のまちづくり

- 防災行政無線戸別受信機・いずも防災メールの加入促進
- 出雲市防災ハザードマップの更新・配布
- 要支援者の個別避難計画の策定
- 原子力防災対策について、中国電力に立地自治体と同様な安全協定の締結を引き続き要請
- 消防緊急通信指令施設の全面更新
- 消防団の活性化に向けた支援
- 斐伊川本川堤防や宍道湖西岸堤防の整備等の国への要請
- 県管理河川の改修推進に向けた県への要請
- 街路や、幹線市道整備10か年計画に基づく道路の整備

○子育て支援と健康、福祉の増進

- 子ども医療費助成による子育て家庭の経済的負担の軽減
- 待機児童ゼロをめざし、保育所の定員増に向けた取組を支援
- 幼稚園の一時預かり事業について、計画的に長時間預かりへ移行
- 児童クラブの受入体制拡充に向け、市設置クラブの整備と社会福祉法人等による運営を支援
- 産婦健康診査の助成を拡充し、妊娠期から子育て期の支援を強化
- 健康診査等の受診率向上や生活習慣病の発症・重症化予防対策の取組
- 障がい者の生活を地域全体で支えていくサービス提供体制「ささえ愛サポート」の運用開始
- 生活困窮者の自立支援と健康・生活上支援
- 介護予防や認知症ケアの取組など地域包括ケアの体制づくりの推進
- 介護人材の確保と定着支援



防災訓練の様子

- 複雑化した課題を抱える世帯に対する総合相談体制の構築

○総合医療センター

- 急性期から回復期、慢性期にわたる医療の提供
- 在宅医療の推進、早期の在宅復帰の支援
- 新公立病院改革プランの方針に沿った経営の効率化

(2) 人材育成

○教育行政・学校教育

- 次世代教育の指針となる「第2期出雲市教育大綱」及び「第4期出雲市教育振興計画」の策定
- 「いずもGIGAスクールプラン」に基づくICTを効果的に活用した授業の推進
- 日本語初期集中指導教室と日本語指導拠点小中学校との連携による日本語の確実な習得と学力向上を図る取組
- 不登校・いじめ等への対策としての児童生徒の人間関係づくりや自尊感情の育成を目的とした取組
- 特別支援教育における一人ひとりの状況に応じた個別指導の実施
- 国富、西田、鰐淵及び北浜小学校の統合に向けた新設校の整備推進
- 第二中学校北校舎の移転改築と第一中学校南校舎の実施設計に着手
- 今市小学校北校舎及び大津小学校屋内運動場の改築に着手
- 学校給食費の令和4年度公会計化に向けた準備の実施
- 高等教育機関との連携事業の実施と学生の地域貢献活動への支援



出雲農林高校 VR 学習（ぶどうの適粒）

○社会教育

- ・社会教育計画の見直しに着手
- ・さまざまな生涯学習機会の提供
- ・出雲科学館における特色ある小中学校理科学習の実施と科学アカデミー事業による人材育成

○市民協働・男女共同参画

- ・地域の課題解決に取り組む市民活動への支援
- ・ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の啓発
- ・新たな「男女共同参画のまちづくり行動計画」及び「DV対策基本計画」の策定

○子ども・若者の育成・支援、

人権・同和教育

- ・青少年育成市民会議や子ども・若者支援センターとの連携により子ども・若者の自立、活躍を支援
- ・同和問題をはじめとする人権問題の解決に向けた教育、啓発活動の実施

○芸術文化・スポーツ振興

- ・出雲芸術アカデミー、出雲総合芸術文化祭の開催
- ・体育協会の活動やスポーツイベント開催への支援
- ・「ディオッサ出雲FC」への支援を通じた出雲の魅力発信
- ・新たな「芸術文化振興指針」及び「スポーツ推進計画」の策定
- ・令和6年春の開館に向けた新体育館の整備推進



新体育館 鳥瞰イメージ（南側上空より）

(3) 環境

○環境のまちづくり

- ・西日本で唯一、トキが見られるまち出雲の情報発信
- ・トキの野生復帰に向けた環境整備の取組内容の検討
- ・次期可燃ごみ処理施設の本稼働に向

- けた移行準備の実施
- ・不燃ごみ処理施設の適正配置や整備に向けた検討



次期可燃ごみ処理施設 建設工事現場

○上水道・下水道

- ・上水道の新規水源の開発
- ・出雲・平田地域の水運用に係る連絡施設の整備
- ・公共下水道の整備と長寿命化・計画的な改築の実施

IV. 結び

私の任期は、コロナ禍からのスタートとなりました。この状況は、社会経済活動を停滞させ、私たちの生活に大きな影響を与えています。一方で、あらゆることを見直す絶好の機会と捉えることもできます。

本市にとって、今、優先すべき課題は何か、将来を見据えて何をなすべきか、あらためて問い直す機会とし、市議会はもとより、市民、関係団体の皆さまとしっかりと対話しながら、新たな総合振興計画を策定してまいります。そして、本市のあるべき将来像とそこに至る道筋を明らかにし、将来像の実現に向け力を尽くして参る所存であります。

また、本年度、中期財政計画のローリングを行い、持続的・安定的な財政運営を図ることで、総合振興計画の実行性を担保してまいります。

さて、現在の本市は、先人たちが幾多の困難を乗り越え、積み重ねてきた礎の上にあります。私は、市民の皆さまと一丸となって、コロナ禍を乗り越えることで、更なる飛躍に向け、新たな礎を築き上げられると確信しております。

今しばらくは、先行きが不透明な状況が続くと見込まれますが、雲外蒼天を信じて、市政を着実に『前へ』進め、元気な出雲、活力のある出雲、そして笑顔の絶えない出雲をめざして邁進していくことをお誓い申しあげ、本年度の施政方針といたします。